

令和2年度 公益活動げんき応援事業助成団体一覧

<げんき応援コース> 助成件数：14件

交付実績合計額：1,237千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
1	千住プレイス	『千住プレイス』…子どもの居場所づくり	区内の不登校児童・生徒は増加傾向にあり、引きこもり等の長期化を防ぐための支援が喫緊の課題となっている。また、子どもの心理・社会的問題にかかわる背景を理解し、地域で支援する体制づくりが求められている。子どもたちが安心して過ごせる人・場所・時間の提供を行う。自由に安心して過ごせる環境を作り、関わることで、信頼できる大人として、継続的に子どもの成長を見守っていく。	112千円	60千円
2	NPO法人 たんぽぽ会	子ども食堂 たんぽぽ	子どもの貧困問題を改善するために、子どもを支援する居場所づくりが必要と考える。地域から子どもの孤食をなくしたり、子どもたちが安心して集う場所を提供するため、子ども食堂を開催する。保護者や地域の方にも参加してもらい、親子のふれあい、地域の方とのふれあいを通して地域のコミュニティづくりに寄与する。	227千円	100千円
3	しかはま自然 観察会のらえ もん	2年次 子どもの仲間づくりと情緒性・自主性を育てるー多様な四季の自然活動を通してー	子どもたちが学校間の壁を超え、お互いが高めあう仲間として交流できる場が必要である。また保護者は地域の中で交流を深め、子どもの仲間づくりを応援できるようにすることも必要である。自然とかかわりながら、仲間と遊び、助け合うことを通じて、人と人とのつながりの大切さを身に付ける機会にしていく。	100千円	74千円
4	CoderDojo 足立	プログラミング学習支援事業	令和2年度からの小学校のプログラミング教育必須化に伴う、教育格差の解消が必要である。民間企業のプログラミング教室は平均1～2万円の月額費用が発生する。格差是正のため、無償でプログラミング学習支援を月一回程度、継続して行うことで、一般の有償プログラミング教室に通うことのできない低所得層の子ども達が、学校教育の補てんやより発展した学びの機会を得ることに寄与する。	90千円	90千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
5	NPO 法人 エコロジー夢 企画	エコ夢探検 隊「足立区の トンボを調 べよう！」	毎年区内で「プールのヤゴ救出大作戦」を行ってきた。今年度は新型コロナウイルス拡大の影響もありプールのヤゴ救出はできないが、足立区民の親子に6月から10月末までに近所で見かけたトンボを調べて報告してもらい、トンボの実態を知ることにより、足立区の環境を考える一助にする。	135 千円	100 千円
6	NPO 法人	地域食堂「ち びっこどん ぶりの日」	地域では、顔の見える関係が薄れ、隣に住んでいる人も知らないこともある現状がある。また、子どもから高齢者が気軽に声かけできる機会も少なくなっている。地域食堂を開催することで、顔の見える関係づくりを推奨することを目的とする。また、子どもから高齢者までが安心して過ごせる居場所を作る。	151 千円	100 千円
7	スマイル・エイジングパートナー	地域高齢者の介護予防事業「脳の健康教室」	区内で介護予防事業を実施している機関が少なく、地域高齢者が気軽に参加できていない課題がある。スマイル・エイジングパートナーでは介護事業所運営とは別に、現在健康な地域高齢者を対象に「要介護」「要支援」になることを予防することに力を入れた事業を行う。この事業を実施することで、高齢者が住み慣れた地域で、地域交流を楽しみながら暮らせるようにサポートする。	513 千円	100 千円
8	NPO 法人 なりわいプロ ジェクト	ひきこもり 予防を目的 としたワー クショップ ～科学とま ちづくり思 考を学び自 己実現意識 をはぐくむ ～	今の若者は地域や日本の未来を自分ごととして捉えたり、社会貢献する意識が低い。自己肯定感も低く将来展望が見えにくい。子ども達がお米など身近なコンテンツを題材に科学的に学び、社会課題を自分ごととして引きつけることで、広い視点で地域や日本をとらえる姿勢を習得し、足立区や日本の住人として自覚的に未来を思考する意識が持てるようにする。	134 千円	100 千円
9		ウィズコロ ナ・アフター コロナの時 代を生きる 子供たちの 力を育むワ ークショッ プ	新型コロナウイルスの感染拡大等により、未来を担う若者たちが未来に向けた希望を持ちにくくなっている。また、「自分が国や社会を変える」ことや「将来の夢」に対して否定的に捉えることが多い。子育て中の保護者が傾聴力を学び、子どもとの信頼関係を強化するとともに自己肯定力を育み学習への意欲が喚起するすべを身につける。若者がレジリエンスを学び、自己受容し自身の力を信じて行動する姿勢、次代の日本を担う力を備える。	152 千円	100 千円

No	団体名	事業名	事業概要	事業費 総額	助成金 交付額
10	ポルテホール 連絡協議会	地域と子供 をつなげる 「ゆるリン ク」	足立区には魅力的な人と豊かな社会資源があるが、 地理的な課題や目的の違い等で繋がりがきれていない のが課題である。「自分たちの足立区」をテーマに 「子ども達にとって本当に必要なことはなにか？」 を共に考え、必要なことを必要な時に実行する人を 繋げ、実現する場と仕組みづくりを提供し、足立区 の安心と安全を共に作っていくため、相談会やイベ ントを行う。	115 千円	100 千円
11	One シードぼ けっと	食の支援事 業	様々な家庭の状況による「子どもの孤立、食の偏り」 が注目されている。また、足立区北西部はこども食 堂の空白地域であり、大人と子どもの交流の場も必 要とされている。「食」「子どもの居場所」の提供 を通じて、「子ども」と「地域のステークホルダー である町会、学校等」との繋がりを作ることで、自 己肯定感を高め、コミュニケーション能力を身につ ける機会を醸成する。	212 千円	36 千円
12	NPO 法人 石綿被害者支 援の会	石綿被害者 支援のため の学習相談 事業	足立区はかつて石綿製造加工工場の集積地であつ た。また、石綿含有建材の加工切断などに従事した 建設従事者が多数住んでいる。このことから石綿被 害者が潜在的にいと推定される。石綿被害者が労 災等の保証を得られるよう相談会を行い、被害者の 支援を行う。	170 千円	77 千円
13	NPO 法人 アンドスプー ン	子育て情報 インターネット 配信& フリーペー パー配布事 業	新型コロナウイルスの影響で外出を控える子育て家 庭も増えており、子どもとの過ごし方などでスト レスを抱えている方が多い。また、地域の情報をど うやって調べたらいいかわからないなどの声も上が っている。地域の情報や子育てに関する情報を動画 サイトやSNSにアップし、各情報サイトにアクセス できるQRコードを掲載したフリーペーパーを配布 することで、地域交流のきっかけをつくり、地域の 活性化を図る。	158 千円	100 千円
14		孤立を減ら そう！子育 て世代の居 場所作り	新型コロナウイルスの影響で外出頻度が減り、子 どもと一緒に過ごす時間が多くなるなど、環境の変 化から心身ともにストレスを抱えながら育児をして いる家庭が増えている。このような保護者に向けて、 オンラインや様々な居場所を提供し、それぞれに合 った居場所を発見するきっかけをつくる。また、多 世代間の交流から、地域とのつながりを意識する機 会を子育て世代の方に提供する。	156 千円	100 千円

<ステップアップコース> 助成件数：4件

交付実績合計額：987千円

No	団体名	事業名	事業内容	事業費 総額	助成金 交付額
1	社会福祉法人 からしだね	子ども食堂 「じいじハ ウス・ばあば キッチン」	家庭の経済状況や保護者の就労等の事情により孤食になる子どもが多い。また、経済格差が子どもの学業に与える影響も大きい。このため、ニーズのある子どもと家族に対して食事と居場所の提供と、経済的理由で学習塾に通えない児童へ無料の学習支援を行う。地域の民生・児童委員とも連携し、子どもと家族の支援のための取組みとネットワークを強化し、子どもへの支援を行っていく。	905千円	339千円
2	一般社団法人 こども食堂支 援協議会	足立区内に おけるこど も食堂を運 営する団体 への支援活 動	足立区内では、様々な事情から十分な食事をとれない子ども達を支援するため、多数の子ども食堂が運営されている。運営費やマンパワーなど、それぞれの子ども食堂が抱える課題を共有し、ともに助け合い団結する場としての協議会を運営し、北足立市場の卸業者に協力していただく青果物の支援や、調理器具、調味料の提供等により、子ども食堂の運営を支援していく。	6,360千円	600千円
3	NPO 法人 LILA 子どもの 学びを支援 する会 (リエ ゾン・アダチ)	リエゾン・キ ッズプロジ ェクト 2020 2030 年の社 会のために 学ぼう！や って み よ う！PART3	自ら学ぶ姿勢と自己肯定感の低下、コミュニティ意識の欠如、貧困やひとり親家庭という発達リスクを負った子ども達の学び・体験の乏しさや問題解決力の育成が課題となっている。継続して開催するシンポジウムにおいて子ども達自らが企画・運営するワークなどを行うことで、自ら考え、学ぶことの楽しさ、仲間と協力することの大切さを知ってもらうきっかけを作る。	631千円	22千円
4	NPO 法人 あだち音楽文 化指導者の会	生演奏で子 どもや大人 の心を豊か にする事業	足立区の子ども達は、五感を使って楽しみ、心が豊かになる「生演奏」に触れる機会が少ない。国や自治体にとって、文化・芸術への優先順位は低く、生演奏を体験できる子ども達は限られてしまっている。足立区の子ども達に「生演奏」に触れる機会を作り、子ども達の心を育て、足立区のすべての人に音楽文化を普及させるため、演奏会を開催する。	2,199千円	26千円